

赤十字

NEWS in 徳島

赤十字の人道活動は皆様方の
日本赤十字社活動支援費（日赤社費）で行われています
ご協力をお願いします

第27号

平成24年7月
発行

発行所 日本赤十字社徳島県支部
〒770-0044 徳島市庄町三丁目12番地1
TEL 088-631-6000
FAX 088-631-6100
URL <http://www2.tcn.ne.jp/~jrcawa1/>

東日本大震災

救援から復興へ日本赤十字社の
活動は今も続いています



被災地の施設で、介護支援にあたる日本赤十字社徳島県支部の救護員（岩手県陸前高田市）

日本赤十字社の救援活動

医療救護活動

未曾有の被害をもたらした東日本大震災。日本赤十字社徳島県支部では発災直後から、医療救護班やこころのケア看護師を派遣するなど、総力をあげた救援・救護活動を展開しました。

東日本大震災から1年4ヶ月を迎えた現在、日本赤十字社では被災地のニーズに応じた支援活動を継続しています。

全国の日本赤十字社各県支部から912班6,500名以上の医療救護班・救護員を派遣し、岩手県、宮城県、福島県を中心に87,000名以上を診療しました。

全国から被災地へ駆けつけた医療スタッフは、日赤も含め全体で12,000名余り。その半数以上が日本赤十字社の救護員でした。当支部でも岩手県山田町及び宮城県石巻市へ救護員を派遣し、懸命の救護活動を展開しました。

赤十字がいかなる時でも
迅速に救護活動ができるのは、
皆様の赤十字活動支援費の
おかげです。
かわらぬご支援をお願いします。

愛をありがとう♥福島から

体育館に、震災以来少なくなっていた笑い声が響きました。そこには、エアクッションでできたジャングルジムやボールプールが設置され、子供たちの笑顔であふれていました。

日本赤十字社福島県支部では、今年2月「すまいるぱーく in FUKUSHIMA」を福島市内で開催し、放射線の不安から屋外で遊べなくなった子供たちに遊び場を提供しました。

来場者からは「屋外で目いっぱい遊べなくなり寝つきが悪くなった。ここで遊ぶようになってからは毎日ぐっすり寝ている。」「身体が育つ大切な時期なので、走り回れる環境があるのはうれしい。」といった声をいただきました。

このように、赤十字の支援活動は、災害救護から始まり、地域の方ひとりひとりに笑顔がもどるまで続きます。



思いっきり体を動かし心も体もリフレッシュ

東日本大震災義援金は、“全額”が
被災者に届けられています。

義援金の受付状況 (平成24年6月13日現在)	件数	金額
日本赤十字社徳島県支部の受付状況	8,689件	15億5,061万9,749円
日本赤十字社全体の受付状況	279万8,250件	3,176億575万210円

平成24年9月30日まで、義援金の受付を行っております。
引き続き皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

介護福祉士による福祉支援

被災地の老人保健施設などでは、介護にあたる職員自身も被災し、十分な福祉サービスが提供できない状況が続いていました。そこで、これらの施設に徳島赤十字ひのめ総合療育センターの7名を含む67名の介護福祉士を日本赤十字社の社会福祉施設から派遣し、福祉支援活動を行いました。

被災者の話を聞くことができたが、被災者の方が涙を流した後に「すっきりした。話せる人がいてよかった。」と言ってくださり、本当に救われた気持ちになりました。

看護師のコメント

長期の避難所生活で、心身ともに疲労の極限状態にある被災者のこころに寄り添う「こころのケア」看護師を日本赤十字社から718名（当支部からは14名）派遣し、14,000名以上の被災者にこころのケアを行いました。

4月に宮城県石巻市へ派遣された当支部こころのケア看護師のコメント

こころのケア活動

岩手県沿岸部の山田町は壊滅状態でした。そのような状況の中でも、物資をお互いに助け合いながら分けている姿を見て、人の繋がり大切さを感じました。救護班の活動としては、日頃の訓練が活かされたことや、被災者のご協力もあり、非常に速やかに行うことができました。

発災直後、岩手県へ派遣された当支部救護員のコメント

着実な歩みを進める
日本赤十字社の復興支援事業

東日本大震災の復興には長い期間が必要で、日本赤十字社では、現在、世界の各国赤十字社から寄せられた海外救済金を財源に、被災者の生活再建を目指した幅広い復興支援事業に取り組みんでいます。

被災者の「いのちと健康を守る」には、医療の復興が不可欠

日本赤十字社は、宮城県沿岸部を中心に仮設診療所や病院再建の支援を行うとともに、高齢者を対象に肺炎球菌の予防接種の支援などを行っています。

教育支援 子どもたちが安心して勉強や運動ができる環境を

日本赤十字社は、学校の被害状況に応じ、保健室の備品整備をはじめとしたきめ細やかな支援を行い、子どもたちが笑顔になれる事業に取り組みんでいます。

福祉支援 尊厳を持って、生きる環境を高齢者に

日本赤十字社は、介護ベッドや福祉車両を整備するといった社会福祉施設などへの支援を通じ、被災された高齢者の生活を見守る取り組みを行っています。

生活支援 仮設住宅での新たな「コミュニティ作り」を応援

日本赤十字社は、仮設住宅でもりがちなお年寄りを対象にこころのケア活動や健康教室など、「顔の見える支援」で住民同士がつながるお手伝いをしています。



ウォーキングで健康づくりと会話を楽しむ被災者

皆様の赤十字活動支援費で、 災害用移動炊飯器を県内に100台設置

当支部では、創立120周年を迎えた平成19年から、南海地震を含む三連動地震等に備え、各地域での「食」の支援体制の充実・強化を図ることを目的に、災害用移動炊飯器を各地に設置しています。

これまでに、県内の全市町村の赤十字組織（地区・分区）を通じて、地域の公共施設等へ設置したのをはじめ、昨年度からは徳島県赤十字有功会の協力を得て、災害時に避難所となる学校やショッピングセンター等への設置も進め、去る6月12日の鳴門市里浦小学校への設置で、100台の配備を達成しました。

今後も皆様から寄せられる赤十字活動支援費を原資として、また赤十字有功会と協働して、地域への設置を一層進めてまいります。

■県内初！ショッピングセンターにも 災害用移動炊飯器を設置

赤十字有功会の（株）キョーエイ様のご協力をいただき、ショッピングセンタータクト（徳島市南島田町）とアピカ（阿南市西路見町）へ災害用移動炊飯器を設置しました。

設置にあわせて炊き出し訓練を実施し、地元赤十字奉仕団員がスーパの食材で炊き出したぜんざいを買い物客に振る舞いました。



ぜんざいを買い物客に振る舞う赤十字奉仕団員

地域の訓練などでも大いに

活用されています。

■炊き出し訓練を通じて、

地域づくりにも一役



災害用移動炊飯器の組み立てを確認する参加者

東みよし町
分区では「さん
わ（話・和・輪
会）」を自治会
単位で開催し、
普段からつなが
りのある、災害
に強い地域づく
りを行うため
に、災害用移動炊飯器を活用した訓練に熱
心に取り組んでいます。
昨年度は27回の炊き出し訓練を実施し、
地域の防災力向上に努めています。

赤十字災害用移動炊飯器って!?

釜の直径は80cmで、高さは60cm。燃料はガスやまきで、米なら約240食分、汁物なら約300食分の調理ができます。

当支部では、水とお米を入れて30分ボイルするだけで、美味しいご飯が出来上がる災害用炊飯袋も炊飯器と合わせて設置しています。



■子供たちの防災教育にも活用

青少年赤十字加盟校の八万南小学校では、防災教育の一環として卒業前の6年生120名が炊き出し訓練を行いました。

「おいしくできたー」と喜びながら非常食を食べた児童たちは、卒業を前に防災意識と赤十字の心を思い出すページとなりました。



卒業記念にみんなで非常食を試食

発達障害者支援の総合拠点オープン

徳島赤十字ひのみね総合療育センターなど4施設が連携し、旧徳島赤十字病院の跡地を活用して、発達障害（児）者を支援する4施設が結集し、全国に先駆けた支援拠点（発達障害者総合支援ゾーン）が、去る4月1日にオープンしました。

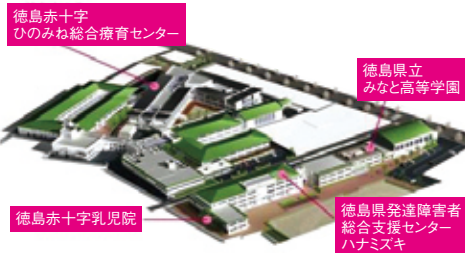
発達障害の早期発見から早期介入、特別支援教育、就労支援まで、発達障害（児）者のライフステージにあつた総合的な支援を行う取り組みが、当支部の2施設も含めて行われています。

発達障害とは

自閉症やアスペルガー症候群など、通常小さい頃から症状が現れる脳機能の障害です。コミュニケーションの障害やパターン化した行動、衝動的な行動などが見られますが、どんな能力に障害があるか、どの程度なのかは人によってさまざまです。早い時期から周囲の理解が得られ、能力を伸ばすための支援が行われることが大切です。

「発達障害者総合支援ゾーン」を構成する施設

- 徳島赤十字ひのみね総合療育センター
心身に障害のある方の治療や介護、生活支援等を一貫して提供する、病院機能をもった社会福祉施設です。
- 徳島赤十字乳児院
さまざまな理由により家庭で養育できない乳幼児を養育する児童福祉施設です。
- 徳島県立みなと高等学園
発達障害のある高校段階の生徒らを、社会的・職業的な自立に向け、専門的に教育する全国初の支援学校です。
- 徳島県発達障害者総合支援センター ハナミズキ
発達障害のある方やご家族等に対し、相談や支援を行うとともに、発達障害について理解を深めていただくための普及・啓発を行います。



徳島赤十字乳児院から

徳島赤十字乳児院は、平成24年4月に新築移転しました。

乳児院の持つ専門機能を生かし、地域の子育て支援に積極的に取り組んでいます。

◆病児・病後児保育のご案内◆

平成24年4月から、徳島市・小松島市・石井町・勝浦町・佐那河内村にお住まいの、おおむね10歳未満の児童の利用が可能となりました。

今までは、小松島市の方だけしかお預かりできませんでしたが、広域で利用いただけます。

ぜひ、ご利用ください。



シリーズ 徳島赤十字病院 第3回 心臓血管外科

切らずに治す大動脈瘤

1991年に「大動脈瘤を切らずに治す手術」が報告されました。それが「ステントグラフト内挿術」です。日本では2006年から広く行われるようになりました。

ステントグラフトとは金属の枠（ステント）に人工血管（グラフト）を縫いつけたものです。ステントグラフト内挿術は、足の付け根を3cm程度切開し、付け根にある動脈（大腿動脈）から、ステントグラフトを小さく折りたたんだものを大動脈内に挿入し、大動脈瘤の位置で広げます。

バルーンでステントグラフトと大動脈壁

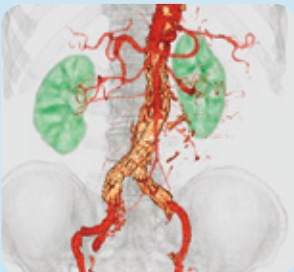
徳島赤十字病院の診療科をご紹介しますシリーズ「徳島赤十字病院」。今回は、患者様に負担が少なく、優しい手術を追求する心臓血管外科です。

心臓血管外科副部長 大谷 享史

を圧着させ漏れがないようにします。血液はステントグラフト内を流れ、大動脈瘤壁に力がかからないため、瘤はそれ以上大きくなり、破裂しないという治療です。

創は小さいうえに身体への負担が少なく、手術の翌日から普通に歩くことができます。またご飯も食べられます。高齢者や合併症がある患者様でも、より安全に手術を受けていただけます。

当院でも2009年からこの手術を導入しております。今後も患者様にとって、負担の少ない優しい手術を心掛けて治療を行ってまいります。



ステントグラフト術後画像



ステントグラフト術前画像

あなたの日本赤十字社活動支援費（日赤社費）で、いのちを守る赤十字活動は行われています。

東日本大震災の救護活動に代表される災害救護をはじめとした赤十字の人道活動は、国や県からの補助金や税金を財源とせず、すべて県民の皆様から寄せられる日本赤十字社活動支援費（日赤社費）で行われています。

今後とも南海地震を含む三連動地震に備えての災害救護体制の強化や救護物資の備蓄、また災害用移動炊飯器の増設など、赤十字の人道活動が継続的・安定的に行えるよう、日本赤十字社活動支援費へのご協力をよろしくお願いいたします。



岩手県山田町で医療救護を行う徳島県支部の救護員（東日本大震災）

10年間、継続して赤十字活動を支援 徳島市地区赤十字奉仕団加茂分団

徳島市地区赤十字奉仕団加茂分団より、10回目の節目となる赤十字活動支援金の贈呈式が昨年12月13日行われました。

「身体の不自由な方のために車椅子を贈ろう！」とはじまったこの活動は、奉仕団員が家庭や事業所で回収したアルミ缶や古新聞などの、リサイクル活動で得た収益金20万円を赤十字の活動支援費として毎年ご寄付いただいているものです。

吉成 由美子委員長は「10年間、この活動を続けられ感動しています。地域の方々、奉仕団員が協力

と工夫で築きあげた絆です。」と10年間を振り返りました。



収益金を手渡す赤十字奉仕団加茂分団の吉成由美子委員長

赤十字活動の力強い応援団 徳島県赤十字有功会が、平成24年度総会を開催

赤十字活動を資金面で力強く支援いただいております徳島県赤十字有功会の平成24年度総会が、去る5月14日、徳島市内で開催されました。

総会では、平成23年度事業実施報告や決算報告、また当支部とともに進める災害用移動炊飯器設置運動を含む平成24年度事業計画が全会一致で議決されました。

役員改正では、平成9年の有功会再発足からこれまでの15年間、会長を務められた住友俊一様が退任し、新会長に古川武弘様（㈱阿波銀行相談役）が選任されました。

総会後には表彰式が行われ、これ



飯泉嘉門支部長から、感謝状を受け取る赤十字有功会前会長の住友俊一様（右）

さまざまな形で“ご寄付”を赤十字へ

- 慶事の記念に、ご寄付をいただきました。
埴舘 美奈子 様(徳島県文化賞 受賞記念)
- 香典返しに替えて、ご寄付をいただきました。
植田 立夫 様(名西郡石井町)

皆様のご意志に沿い、赤十字の人道活動に有効に活用させていただきました。赤十字活動へのご協力、誠にありがとうございました。

- ※「香典返し」のご寄付については、赤十字が挨拶状の作成・発送等のお世話をいたします。
 - 20万円以上…表彰(銀色有功章)の贈呈・挨拶状作成のお世話
 - 50万円以上…表彰(金色有功章)の贈呈・挨拶状または新聞掲載のお世話

皆さまの“いろんな思い”を赤十字へお寄せください。

災害救護、国際救援、いのちを守る救急技法の普及、医療、献血…あなたのいろんな思いを、いのちを守る赤十字活動に「かたち」を変えて、身近なところから世界までお届けします。

- ♡「お香典」等への慣例的なお返しに替えてのご寄付
- ♡遺産のご寄付、故人の遺言によるご寄付
- ♡結婚記念や創立記念などの周年記念のご寄付
- ♡長寿のお慶びやチャリティーバザーなどの収益金のご寄付

ご寄付についてのお問い合わせは
日本赤十字社徳島県支部事務局 総務課 TEL:088-631-6000 まで

ぜひ、下の振込用紙(振込み手数料は無料、金額は任意です。)で、赤十字活動支援費へのご協力をお願いします。

※赤十字への寄付金は、税法上の優遇措置(所得税・法人税・相続税の控除)が適用されます。

赤十字活動支援費領収証

金額	※				百万				千				円
取りまとめ店	阿波銀行 鮎喰支店 徳島銀行 加茂名支店												
受取人	日本赤十字社徳島県支部												
住所・氏名	ご依頼人 様												
取援店	平成 年 月 日 銀行 支店												
(法人) この領収証記載の金額は法人税法第37条第4項の規定に基づく寄付金に該当します。													
(個人) この領収証記載の金額は所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく特定寄付金に該当します。													

(振込人)

振込ご案内

金額	※				百万				千				円
取りまとめ店	阿波銀行 鮎喰支店 徳島銀行 加茂名支店												
受取人	日本赤十字社徳島県支部												
住所・氏名・連絡先	〒 - 様 (TEL: - -)												
赤十字寄付金用 上記のとおり払込を取扱いましたからご通知いたします。													
平成 年 月 日 銀行 支店													
コード番号													

(取りまとめ店→受取人)

普通預金入金票 赤十字寄付金

取及び口座番号	阿波銀行 鮎喰支店 (普) 0233304 徳島銀行 加茂名支店 (普) 1756682												平成 年 月 日	円	検印	
金額	※				百万				千				円	内 訳	出納印	署名
受取人	徳島市庄町3丁目12-1 日本赤十字社徳島県支部															
住所・氏名	ご依頼人 様															

(取援店→取りまとめ店)

一 この領収証は大切に保存して下さい。
二 本票をもって日本赤十字社徳島県支部の領収証とさせていただきます。
三 右記取りまとめ店の本支店ご利用の場合は手数料免除となります。



人間を救うのは、人間だ。 日本赤十字社 スローガン

7月は愛の血液助け合い運動月間です



科学が進歩した現在においても、生命の維持に欠かせない血液を人工的に造ることはできません。病气やけがで血液を必要としている患者さんのためには、皆様からの献血が必要不可欠です。赤十字血液センターでは、夏場の血液不足解消のため、毎年7月を「愛の血液助け合い運動月間」として全国的にキャンペーンを展開し、血液の安定的な供給ができるよう努めています。この機会にぜひ、400mL 献血、成分献血へのご協力をお願いいたします。

マチ★アソビ献血、大盛況！

～ご協力ありがとうございました～

5月3日から5日にかけて徳島市内中心部で開催されたアニメイベント「マチ★アソビ」。今回の「マチ★アソビ」では人気アニメ「Fate/Zero」とコラボレーション！献血いただいた方へ特製ポスターを配布しました。

3日間の期間中、献血ルーム・献血バス合わせて492名の方に献血のご協力をいただきました。

当日は献血会場周辺に献血者の行列ができ、最大約2時間の待ち時間が発生してしまうほどの大盛況となりました。

たくさんのご協力、ありがとうございました。

なお、当日献血いただけなかった方は、引換券をご持参の上、7月31日までに献血ルームアミコで献血いただければポスターをお渡しいたします。

今後も血液の安定供給のため、継続的な献血にご協力ください。



たくさんの方でにぎわった献血会場



献血記念品として配布したポスター

複数回献血クラブ会員募集！

「複数回献血クラブ」とは、血液が不足した時に個別にメールで献血を呼びかけ、年間を通じた血液の安定確保を図るために設置されたクラブです。

400mL献血、成分献血にご協力いただける方は、ぜひモバイル会員登録をお願いします。

ご登録は…

abo@kenketsu.jp

に空メール♪

携帯で下のQRコードを読み取って空メールを送ってね！



会員様にはご希望により限定デザイン献血カードを発行します。その他会員特典多数★

血液センター・献血ルームの定休日変更のお知らせ

2011年4月にリニューアルオープンして1年。

今後もより多くの方に献血にご協力いただくため、献血ルームアミコは、本年4月1日から毎月第一火曜日を除く、すべての曜日で献血を実施しております。

広く、新しくなった献血ルームアミコへぜひお越しください。皆様のご協力お待ちしております。

※血液センターは毎週月・金・土曜日が定休日となっております。

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承ください。

徳島県赤十字血液センター

徳島市庄町3-12-1

■定休日 月・金・土曜日

■受付時間 9:00～16:30(成分献血は16:00まで)

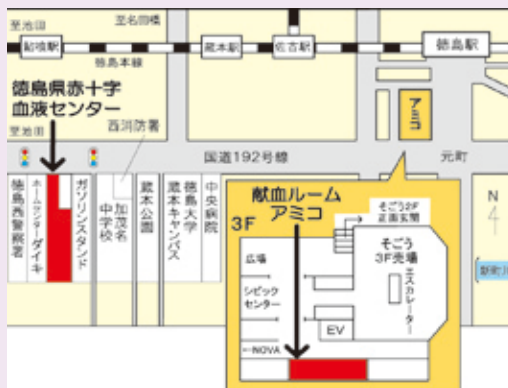
献血ルーム アミコ

徳島市元町1-24アミコビル3階

■定休日 第一火曜日

■受付時間 9:30～13:00

14:00～17:00(成分献血は16:00まで)



<日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します>

・日本赤十字社徳島県支部事務局 徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-6000 ・徳島赤十字病院 小松島市小松島町字井利ノ口103 TEL:0885-32-2555
・徳島赤十字ひのみね総合療育センター 小松島市中田町新開4-1 TEL:0885-32-0903 ・徳島県赤十字血液センター 徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-3200
・徳島赤十字乳児院 小松島市中田町新開2-2 TEL:0885-32-0555